

# 旅アト

世界の課題や取り組み事例について調べてみよう。

身近な課題や取り組み事例について調べてみよう。

SDGs ゴールを自分の言葉で訳してみよう。

富山市の事例をもとに地域や世界に対して、自分でできることを調べてみよう。



# 空きビルを活用し学生が集う場をつくる まちなか学生シェアハウス fl



- ◎ 賑わいと活気のあるまち
- ◎ 交流のあるまち
- ◎ 県内就職率が高い



- ◎ 少子高齢化、まちに若者が少ない
- ◎ 中心市街地の空き物件の増加
- ◎ 大学卒業後に県外就職する割合が多い



まちなかの空きビルをリノベーションし、2022年に学生シェアハウス「fl」を整備しました。ただ場所をシェアするのではなく、地元商店主や企業など様々な人との関わりをすることで、暮らしや価値観などもシェアできるシェアハウスです。

富山市の中心商店街から約 2.5 km離れたところに富山大学五福キャンパスがあります。約 5 千人は県外出身者で、そのほとんどが大学周辺のアパートに居住しており、地域や大人との関わりがないまま卒業し富山を離れていく学生がほとんどです。「まちなかに若者がいない」「空き物件が増加している」「富山を出ていく若者が多い」このことを課題に感じ、富山大学と協働でまちなかの空きビルをリノベーションして学生シェアハウスを作りました。

県外就職による若者不足や少子高齢化が進む中、次の世代を担う若者が、まちを知り、まちと関わるきっかけをすることで、卒業後も富山で定住することに繋がったり、まちの賑わいに繋がることを目指しています。

# 旅マエ 考えてみよう。 調べてみよう。 わからないことを書き出してみよう。

- 若者の県外進出が多いとどうなるのかな？
- 学生と地域が繋がるとどんな良いことがあるのだろうか？

## まちなか学生シェアハウス fil



▲左がランドリー棟、右がシェアハウス棟

fil はシェアハウス棟とランドリー棟で構成されています。シェアハウス棟の2階から5階が居室スペースで、全部で32室あります。1階は「地場もん屋食堂 fil」として、地元産の食材を使った食事を提供しています。隣の建物には「まちなかランドリー fil」を設け、洗濯中に食堂で食事やお茶を楽しめるようになっています。食堂とランドリーは居住学生だけではなく、地域に開かれた場所になっています。近隣にはマンションやオフィスも多いので、地域の方が日常的に利用する場を設けることで、入居学生が地域の方々と繋がるきっかけになればと考えています。fil の入居条件は、「まちなかの活動に参加すること」と「学生であること」です。地域や人と関わり合いながら学生が自己成長するとともに、彼らの活動がまちなかに活力をもたらすことを期待しています。

「fil」はフランス語で「糸」という意味です。「多様な人やモノゴトがこの場で、出会い、共感し、体験をシェアし、新しい価値が紡がれますように」という想いを込めています。

### fil サポートクラブ

fil の入居学生がまちなかで様々な活動を行えるよう、地元企業を中心とした fil のサポートクラブがあります。現在約 40 社が参加しており、学生と企業との交流会の開催や、学生が行うイベントの資金出資をしてくださったりと、学生が充実した生活を送れるようにサポートをしてくださっています。これまで、サポートクラブに参加している企業主催の野菜の収穫イベントに参加したり、企業職員と学生との座談会を開催したり、全国各地でまちづくりに携わっている方の講演会を開催したりしました。学生が色々なことに挑戦できる環境を作り、たくさんの方と出会う機会をつくることで、学生の視野が広がる機会を作っています。

### 学生の声

(入居者 1 年生)  
1 人だと何かやってみたくとも実現することはハードルが高いですが、fil では何かに挑戦する機会がたくさんあり、自分が動けば多くの方と関わることができます。同居人には魅力ある人たちがたくさんおり、同世代だからこそもう刺激が多く、こんなこともやっているのかと日常から勉強になっています。

(fil 卒業生)  
自分の興味を持っていること、得意分野を活かして活動できるとても貴重な環境でした。fil に住むことで、面白い大人の方々にたくさん出会い、常に学びや刺激がありました。fil に住んでみて、改めてまちなかに住む居心地の良さを感じ、fil を卒業してもまちなかに住む予定です。

## 学生の活動

### グランドオープンイベント「fil×???'」

fil がグランドオープンするにあたり、学生が主体となってグランドオープン記念イベントを行いました。「fil×???'」のタイトルは、fil 入居者と「何か」が合わさることで、毎回新しいことが生まれる楽しみを作りたいという想いからネーミングされました。fil (フランス語で糸) という施設名称にちなみ、糸を使って描くタフティングを体験できるブースを作ったり、学生自身によるラテアート体験、フリーマーケットを開催しました。



### Meet @ fil ~企業の TOP と語る会~

サポート企業を中心とした企業の経営者と入居学生が、仕事の話、人生の話、社会の話など、ちょっとした食事をしながら、ざっくばらんに語り合う会を定期的に開催しています。「企業の社長さんと交流する機会はなかなかないため、大変良い機会だった」「就職活動の参考になった」「学生のうちに色々チャレンジしようと思った」と、学生にとって刺激を受ける会となっているようです。



### ギャルリ・ミレー利用促進会議

富山市中心商店街に位置する美術館「ギャルリ・ミレー」の利用促進会議に fil 入居者が参加しました。新しい客層や若い世代にも利用してほしいため、fil 学生の意見を聞きたいという運営委員会の方々の思いから開催されました。美術館にて解説を聞いた後、意見交換を行いました。ギャルリ・ミレー以外にも、地元商店街マップづくりに向けた意見交換会などにも参加し、より良いまちにするために地元地域の方々と交流する機会がたくさんあります。



### 富山まちなか学生 EXPO 2023

学生が主体となって企画したイベントをグランドプラザで開催しました。ハンドメイドアクセサリーや古着の販売、トークショー、バンド演奏などを行いました。今回は fil の学生だけではなく、大学のサークル団体や、近隣学校と協力して開催しており、たくさんの方と交流できる良い機会となったようです。EXPO の資金は、サポートクラブの皆様が出資してくださっており、学生が挑戦できるような仕組みとなっています。

